

H27 年漁期のあかいか(ソデイカ)漁業について

今漁期(H27 年漁期)のあかいか(ソデイカ)漁業について取りまとめましたので、お知らせします。

1 平成 27 年漁期の漁況

【兵庫県下各漁協(支所)の漁獲】

平成 27 年(2015 年)の漁獲量(速報値)は、但馬漁協津居山支所 0.7 トン(2014 年は 19 トン)、竹野支所 0.7 トン(同 14 トン)、柴山支所 0.5 トン(同 12 トン)、香住支所 0.5 トン(同 54 トン)、浜坂漁協 0.02 トン(同 14 トン)、**合計 2 トン**(同 114 トン)で、**前年比 1.8%と極めて低調でした**(図 1)。

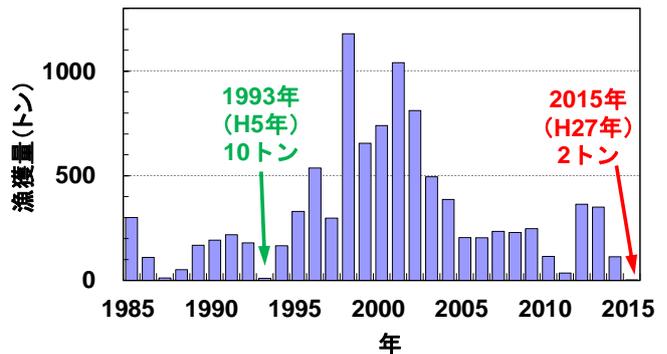


図 1 あかいか(ソデイカ)漁獲量の推移(但馬全体)

2 価格の推移

県下全域の漁獲金額(速報値)は、合計 336 万円(前年比 5%)でした。平均単価(1kg 当たり)は、**9~12 月にかけて 1,000 円を上回り、1,100~1,600 円台で推移しました**(図 2)。

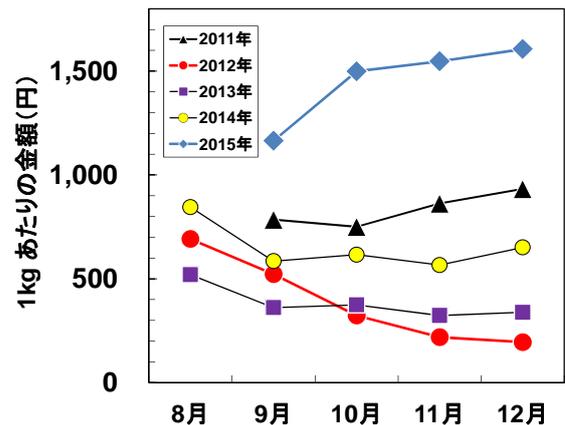


図 2 あかいか(ソデイカ)平均単価の推移(但馬全体)

3 漁況予報の結果(的中したかどうか)

今年度、当センターでは、7 月 23 日に「あかいか(ソデイカ)長期漁況予報(予報期間: 9~11 月)」を発表しました。主な予報内容と結果は、以下のとおりです。

【来遊資源量】

「1 日 1 隻あたりの漁獲量(9~11 月平均)は、120 kg 前後の見込み。昨年(1 日 1 隻あたりの漁獲量; 113 kg)とほぼ同程度の漁獲となる見込み。過去 10 年平均(2005~2014 年; 135 kg)をやや下回る。」と予報。

結果: → ×: **低調な漁獲で推移することは予測できていたものの、1 日 1 隻あたりの漁獲量は 21 kg で、昨年および過去 10 年平均を大きく下回りました。**

【今漁期の総括】

今漁期は、エルニーニョの影響により冷夏となり、特に 7 月以降、海水温が平年値を大きく下回る値で推移し、そのような状況が 10 月頃まで続きました。そのため、対馬海峡から日本海に來遊するあかいかが、例年に比べて極端に少なかったと考えられます。このような漁況は、記録的な冷夏となった 1993 年にも見られており(1993 年の漁獲量は 10 トン)、エルニーニョが解消すれば、漁況の回復も期待できるのではないかと考えられます。今後は、あかいかの主分布域である沖縄県等での漁獲動向も注視しながら、エルニーニョ等地球規模で起こる海洋変動の影響をあかいかの長期漁況予報にどのように反映させていくのか、さらに検討することによって、予測精度の向上に努めたいと考えています。

*** 今後も、引き続き調査へのご協力をよろしくお願いいたします。**